

# 平成27年4月 データから見た業界の動き

## ■ 概 況

昨年同月期は17年ぶりに消費税率が引き上げられ予想以上に消費が落ち込み、県内の経済は急激に悪化した。未だに続く消費税増税の影響や円安による原材料等の価格上昇、技術労働者の不足による影響により、中小・小規模企業が抱えるコスト負担増が大きな問題となっている。

一方、日経平均株価が15年ぶりに2万円台を回復するなど国内の景気は好転への期待が高まっている。また、円安効果や外国人向けの消費税免税の範囲拡大などが追い風になり観光業関係を中心に景気回復の傾向にある。

しかし、消費税率引き上げをきっかけに受注先や消費者による発注業者（購入先）の選択の目が厳しくなっている。その結果、業種や業態内における技術力や商品力、価格など一段と企業格差が鮮明になっている。

今後、体力のない中小・小規模企業は、競争が厳しくなる中で、付加価値を高めながら経費の値上がり分を販売価格に転嫁できるかどうかが今後の課題である。

## ■ 業界からのコメント (業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照)

### ● 製造業

食料品（水産物加工）	ギフト関係は好調であったが、昨年は大口取引があったが今年は取引がないため全体の売上は前年同月比86%。
食料品（洋菓子製造）	自社製品の値上げの影響や台湾以外の輸出不振により売上は前年同月比92%。原料価格が高止まっており一部の値上げでは追いつかない状況。
食料品（製麺）	低価格競争の激化による販売量の減少に加え、原料値上がりで収益は低下し経営が厳しい。
食料品（菓子）	前年同月よりボイラーの灯油価格が下がったため、収益は改善。
繊維・同製品（アパレル）	前年より多少上向き感がある。個人客に特化した製造販売を行っている企業は30～50%伸長している。
木材・木製品製造	徐々に改善傾向。
窯業・土石（砂利）	前年同月に比べ工事量が少なく厳しい状況。
窯業・土石（山碎石）	景気回復感は感じられない。
鉄鋼・金属①	前年同月は消費税率引き上げの影響が見られたが今年度は、順調に推移。
鉄鋼・金属②	下げ止まり状態。

電気機器①	年度末、ゴールデンウィークを控え組合員各社とも前年同月同様に繁忙。しかし、企業の技術力格差によって仕事量の違いが顕著に表れている。
宝飾(貴金属)	景況は悪い。消費税率引き上げ前の景気回復感は、全くなくなった。

## ● 非製造業

卸売(紙製品)	工業、商業、一般家庭より排出される古紙類が減少。
卸売(ジュエリー)	前年同月は、消費税率引き上げにより売上不振だったため今年は10%程度増加。また、中国人バイヤーの売上が大幅に伸びている。
小売(青果)	4月は入荷減により販売価格が上昇。
小売(食肉)	国内食肉の出荷頭数の減少や輸入食肉の入荷量の減少から仕入価格が高騰しているが、値上がり分を販売価格に転嫁できず収益は悪化。
小売(石油)	4月はアメリカのシェールガスの減産により卸売価格が上昇し輸入価格が値上がりしたため、値上がり分を転嫁した販売価格を予想したが横ばいで推移した。
不動産取引	東京から物件の買い取り依頼が増加しているが、太陽光発電用の土地の買い取り依頼は減少。
宿泊業(甲府)	組合員間に格差が生じているが、業界全体的には好転の兆し。特に、海外からの宿泊客を受け入れているホテルは数ヶ月先まで予約が満室のホテルもあり、今後ますます需要が増加する見込み。
警備業	季節イベントの警備需要はあったが、大型工事の終了や公共工事の発注遅延等により仕事量が極端に減少。しかし、取引の際の労働単価は広報等が浸透しはじめたため好転の兆し。雇用については、相変わらず募集をしても集まらない状況が続いている。
建設業(総合)	4月の県内公共工事動向は、件数で21%減少しているが請負金額では6%増加。
建設業(型枠)	昨年同月比でみると仕事量が大幅に減少。背景には選挙や予算の遅れ、職人不足による建物の設計変更等があり着工が遅れている。そのため、全く仕事がない事業所もあり厳しい状況が続いている。
建設業(鉄構)	仕事量の大半は首都圏を中心とした県外の物件である。
設備工事(電気工事)	4月は時期的に仕事が減少する。年度末の残った仕事を消化している。
設備工事(管設備)	前年度の公共事業の前倒し分が売上減となり、円安による原材料の上昇分や技術労働者不足による人件費増が続いている。
運輸(トラック)	運賃収入だけでは経営が厳しいため、運送以外の仕事も積極的に取り組まないと利益が確保できない状況にある。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

対前年・前月・当月	製造業			非製造業			合計		
	2014/4	2015/3	2015/4	2014/4	2015/3	2015/4	2014/4	2015/3	2015/4
売上高	-25	-20	-10	-23	-13	13	-24	-16	4
収益状況	-25	-5	-15	-30	-20	7	-28	-14	-2
景況感	-35	-15	-20	-20	-30	-7	-26	-24	-12

※（（良数値÷対象数）×100）－（（悪数値÷対象数）×100）＝D.I値

